令和8年（2026年）9 月25日
北鳳丸　指導教官　小樽水産高校　籾山

【令和8年度秋季浮魚調査実習（北鳳丸）実習経過報告】

小樽水産高校専攻科漁業科 1 学年6名は、函館水産高校専攻科機関科1学年4名とともに9月6日（日）に函館港にて乗船を開始し、9日（水）14:00 予定通り出港をしました。翌日10日（木）より調査を開始し、低気圧接近に伴う荒天のため、予定を一部変更し、現在は次の調査再開のため、調査海域に向けて航行しております。

本航海では、北西太平洋および北海道・東北太平洋沿岸における浮魚資源量調査のためのトロール網による操業や海洋観測が連日行われる予定であり、専攻科生徒は、通常の当直任務以外に、これら操業および観測も行っています。

現在、北緯42度00分、東経162度 00 分付近を航行、現在は台風の影響で避航しながら調査点に向かって航行を続けています。専攻科生全員、けが等はなく元気に過ごしております。

10 月に受験予定である海技士試験のための学習、また、海技士口述試験対策での知識の定着、次航海でのプロジェクト学習発表会（課題研究）など様々な学習課題が多くあり、一人ひとりの自己目標のため、専攻科生は努力を継続しています。

今後も体調管理、けがや事故防止を徹底させ、実習に励んで参ります。ここで少しだけ専攻科漁業科の生活の様子や本校専攻科漁業科の魅力をご紹介します。



令和8年度　北海道小樽水産高等学校専攻科漁業科1学年
秋季浮魚調査実習出港式　（令和8年9月9日　函館港北鳳丸にて）

【生徒のとある1日】※生徒によって当直や作業の時間帯が異なります。当直開始時間等も毎日異なります。(例)当直:0 時～3 時、18 時～21 時の時



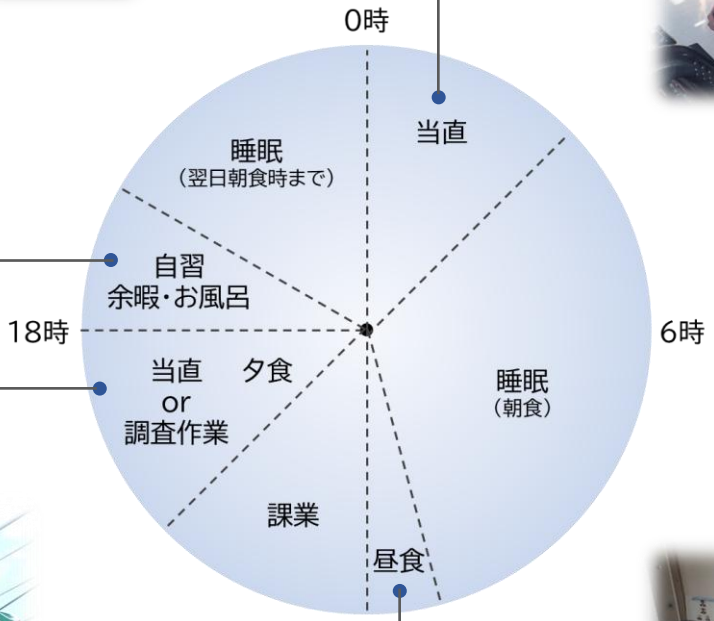












北海道小樽水産高等学校　**専攻科漁業科**の魅力とは？？　乗船実習中の専攻科生にインタビューしてみた！

【こんな学生生活をしています！】

・1年生の間は全て乗船実習！

毎日友達と実習に取り組めます。

・まとまった休みがあります！

・楽しく、衣食住に困らない生活！



【こんな経験ができます！】

・漁業や船の運航などの実経験しかない！

・実習の中で近くには本物の船員さん！

自分のスキルをとことん磨けます！

・国内外、様々な場所に船で行ける！



SPECIAL DEPARTMENT OF FISHERY
SINCE 1956
専攻科

【こんな勉強をしています！】

・海技士（航海）の資格を取得し、即戦力！

・実習経験からスキルアップは間違いない！

・毎日が現場での実習！船舶のスペシャリストとしての学びがそこにはある！



【こんな将来を叶えられるかも！】

・将来は夢の航海士！

・日本全国が活躍のフィールドへ！

・人々の安心安全な生活を支える人になれる！

・高収入も夢ではない！？

